第９回全国書写書道総合大会
令和２年度全国学生書写書道展

主催　一般社団法人日本書字文化協会
共催　公益財団法人文字・活字文化推進機構
後援　文部科学省他

【文部科学大臣賞】

愛知県刈谷市立東刈谷小学校　６年
山内　袖良

わたしのほこれるもの

この度は「文部科学大臣賞」という名誉ある賞に選んでいただきありがとうございます。

先日、先生から結果を聞いた時にはとてもおどろき言葉を失ってしまいました。

わたしは年長の時から小川学園にお世話になっています。初めは長く習字を書くことや先生からの注意に泣いてしまったりしていましたが、小学校に入り周りの友達に「すごく上手だね」と言ってもらえるようになりました。

教室にはもっと沢山上手な先輩方がいてわたしは自分に自信を持っていいものか分かりませんでした。しかし、五年生位からもっときれいな字が書きたい、と思うようになり、書に向かう姿勢も意識するようになりました。先生が常々「良い作品を書きたいと思って書と向き合ってる子が良い作品をつくるよ」と言っていました。

文部科学大臣賞の受賞を通してわたしの中で「書」は自らの表現であり、ほこれるものと感じています。これからも自分と向き合って書を高めていきます。

今回の受賞は、わたしに厳しく的確な指導をしてくださった先生、いつも応援してくれる両親、一緒にがんばってきた仲間達の存在があったからこそだと感じています。

最後となりますが、審査してくださった先生方、大会関係者の方、ご指導くださった先生方に感謝申し上げます。